令和3年度木造住宅・都市木造建築物における生産体制整備事業
（うち、大工技能者等の担い手確保・育成事業）

# 令和の大工棟梁技術者育成事業

伝統技術を活かした
技術者育成・確保プログラム

## 参加者随時募集中

一般社団法人
全国古民家再生協会
INSTITUTE OF JAPAN KOMINKA ASSOCIATION

# 未来を担う大工のさらなる技術向上のために

子どもたちの憧れの職業のひとつとして挙げられる「大工」ですが、実際に大工になって技術を磨くための環境は十分に整備されておらず、彼らの夢は大人になるにつれて影を潜めていきます。しかし大工の育成は古民家の保存活用や地域の木造文化を継承するために重要であり、業界として担うべき社会的役割でもあります。また、大工の技能は地域工務店の最大の競争力にもなります。そこで私たちは、技術継承のための人材育成に取り組んでおり、各地域で活躍している大工棟梁が道具の手入れや扱い方、礼儀作法などを指導し、実際に課題を出して時間内に正確に綺麗に加工できるかをテストする実技指導のカリキュラムをご用意しました。未来を担う大工の方にとって、またとないスキルアップのチャンスですので、ぜひご応募ください。

## 事　業　概　要

**開催予定期間**

**令和3年9月から11月末**

※受入企業によって異なります。

**参加資格** 大工技能者

**参加費用** 9,000円（テキスト費用に充当）

**研修内容**

**［座学］8時間**

伝統的な木造家屋の特徴や気候風土に合わせた地域の住宅の特徴、部材や加工方法、現在のライフスタイルに合わせた改修を提案するための知識の習得。

**［実技］40時間**

大工技能者自身の伝統的技術向上をめざし伝統的な技術を生かし1坪から1坪半の住宅模型を製作

| | | | |
|---|---|---|---|
| ❶礼儀作法 | 挨拶、作業時の他者への安全確保への配慮など礼儀作法について。 | 墨の付け方、ポイントなどについて指導をおこない、実践。 |
| ❷使用工具、道具の手入れ | 電動工具を使用せずに手道具のみを使用する。道具が適切に管理され、手入れされているかを確認。刃物類は研ぎ方、使い方を説明。 | 実際の加工を一定の時間内での完成を目指して実施。各参加者のレベルに合わせた実技指導をおこなう。道具の使い方、方向、角度、力の入れ方などについて安全に、短時間で美しく仕上がるように指導。 |
| ❸材　料 | 使用する木材の特性を吟味。 | 実技検定項目チェックシートをもとに受け入れ企業熟練大工による検査。 |

**下記の申込書に記載いただき、受入企業へ提出ください。開催日程・会場等の詳細については、各受入企業よりご連絡させていただきます。**

*本事業は参加者負担の軽減のため、昨年度に引き続き令和3年度木造住宅・都市木造建築物における生産体制整備事業（うち、大工技能者等の担い手確保・育成事業）の補助を受け実施するものです。*参加者の氏名や年齢、経験年数などの情報や、受入企業の情報ならびに研修中の写真などについては、報告書やホームページ等に掲載することがありますので予めご了承ください。

## 申　込　書

| 氏　名 | 年　齢 | 経　験 | ご　住　所 | 勤務先名 |
|---|---|---|---|---|
| フリガナ | | | | |
| フリガナ | | | | |
| フリガナ | | | | |

**全国10箇所の受け入れ企業にて約100名の大工技能者育成を行います。**

受入企業情報


お問い合わせ

INSTITUTE OF JAPAN KOMINKA ASSOCIATION

一般社団法人
全国古民家再生協会

http://www.g-cpc.org/

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目3-1
幸ビルディング9階